

国内外規格・認証制度研究会 の活動

2009年4月21日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
国内外規格・認証制度研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

研究会メンバー

担当理事: 黄野吉博

座長: 石川芳朗

副座長: 江崎浩輔・高橋哲朗

メンバー: 石井洋之・大石育三・太田究三郎・小野高宏・折笠秀明

加藤洋子・黄野吉博・荒野てつ也・菅沼 勲・杉澤 豊・高橋明彦

永木良明・間 博之・深川志津・前田 良二・増田幸宏・松本新一

森 徳行・正保文彦

(22名、2009年03月27日現在、順不同、敬称略)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

研究会開催実績

08/07 08/08 08/09 08/10 08/11 08/12 09/01 09/02 09/03 09/04

開催月



主な議題

- ・BCMSの現状
- ・自由討議
- ・今後の運営方法(1)

- ・BCP事例発表
- ・ISO関係の情報共有
- ・今後の運営方法(2)

- ・BCP事例発表
- ・今後の運営方法(3)

- ・PAS77(ITSC):BSIの情報共有
- ・BCP関連トピックス

- ・ISO/PAS22399関連の情報共有(1)
- ・その他、トピックス

- ・BCP関連規格の情報共有(2)
- ・BCP事例発表
- ・BCI GPG2008要約

- ・BCP関連規格の情報共有(3)
- ・今後の方向付け

- ・規格情報共有(4)
- ・今年度のレビュー
- ・今後の方向付け

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

ISO/TC223 (社会セキュリティ専門委員会) の公開情報

出典: http://www.jisa.or.jp/stdz/mngment/pdf/iso_security.pdf

(1) TC223の今までの成果

- ・ISO/PAS22399:2007(緊急事態準備と業務継続マネジメントガイドライン)の発行

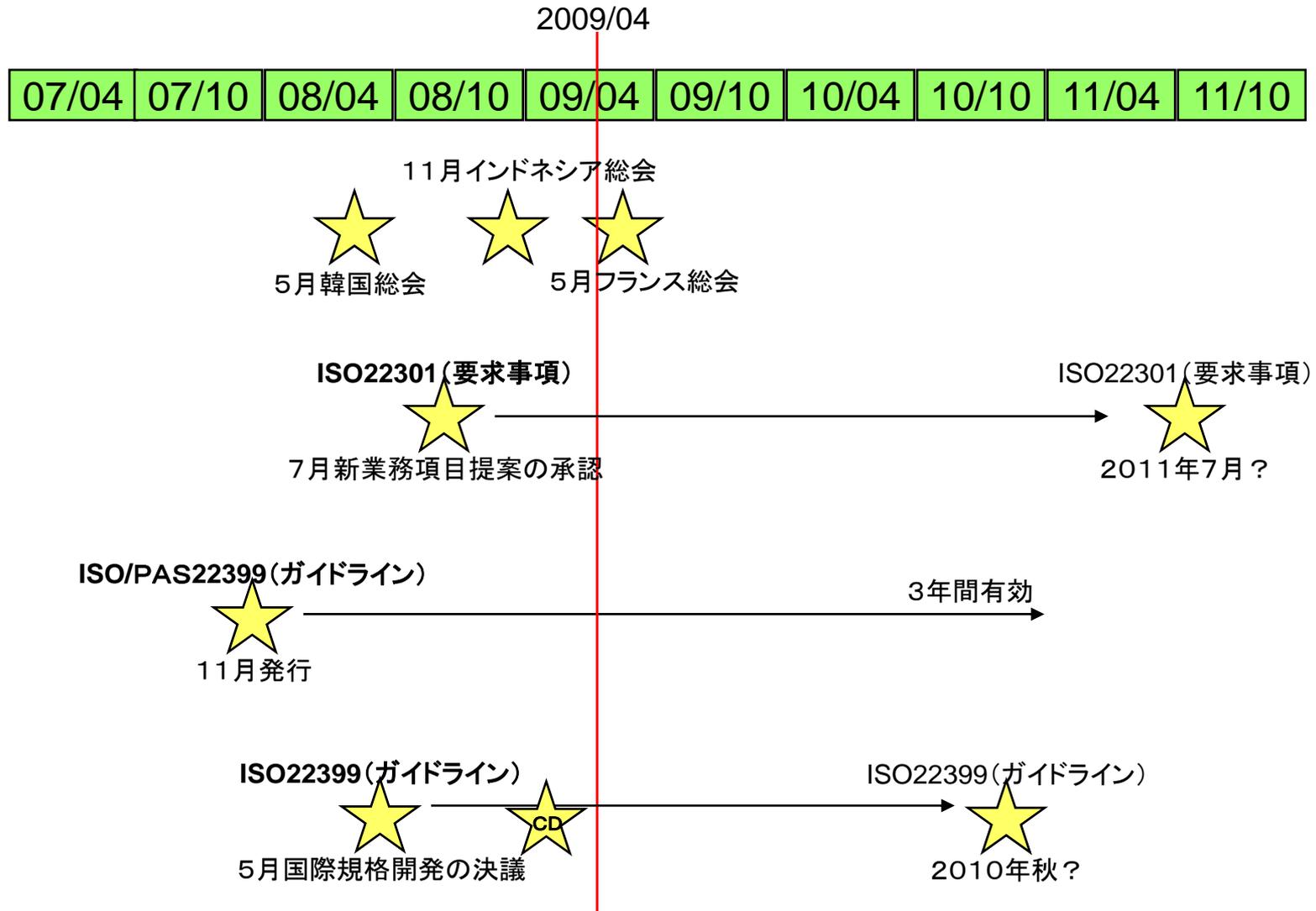
(2) TC223の現状(2009年2月1日時点)

- ・WG1 : 社会セキュリティマネジメント
(社会セキュリティマネジメントに関する規格開発(官民協力、訓練手順))
 - ・WG2 : 用語
(社会セキュリティ分野で使用される用語集を作成)
 - ・WG3 : 指揮、統制、調整及び協力
(指揮、統制、調整及び協力に関する規格を開発)
 - ・WG4 : 緊急事態準備及び業務継続
(緊急事態準備及び業務継続マネジメント分野の規格を開発)
- ・Pメンバー : (作業に積極的に参加するISOメンバー) 日本を含む35カ国
 - ・Oメンバー : (オブザーバー) 17カ国

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

ISO化の動向

出典: http://www.jsa.or.jp/stdz/mngment/pdf/iso_security.pdf



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

研究会の流れ

- ・第1回目 : マネジメントシステム(MS)関係より、内外のディスラプション対策とその評価方法に力点を置き、研究していく。
- ・第2回目 : ディスラプション対策とその評価方法について、公開情報がどれだけ集まるか不確定な点がある。 その他の研究課題を模索してみる。
- ・第3回目 : 各人の情報を発表しながらグループ内の情報共有を通し、各人のB CMS及びBCPの知見向上を図る。
- ・第4回目 : PAS77 (IT Service Continuity) : BSI発行についての情報共有。
- ・第5回目 : ISO/PAS22399関連 についての情報共有
- ・第6回目 : BCP事例について情報共有
- ・第7回目 : 今後の方向はISO化動向ウォッチとディスラプション研究
- ・第8回目 : 今年度活動のレビューと今後の方針

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

国内外の規格、認証制度関連の鳥瞰イメージ図

BCP関連規格

- 諸外国規格・ガイド
- 国内規格・ガイド
- BS25999-1
BS25999-2
- ISO/PAS 22399
- ISO22301
- ISO22399
- 指揮命令
- 官民連携
- 訓練・テスト

RM関連規格

- JISQ2001
- ISO31000:2009
・リスクマネジメント

マネジメントツール

- ERM
- RM
- J-SOX
- BCP/M

国際規格開発機関

- ISO/TC223

国内外規格・
認証制度研究会

貢献

企業・政府
・自治体

レジリエンシー
の改善

推進機関

- DRII
- BCI
- BCAO

推進機関ガイド

- プロフェッショナル
10項目
- BCI-GPG
- 標準テキスト
主任テキスト

第三者監査・認証

- 認定機関
- 認証機関
- ユーザー組織
- コンサル機関

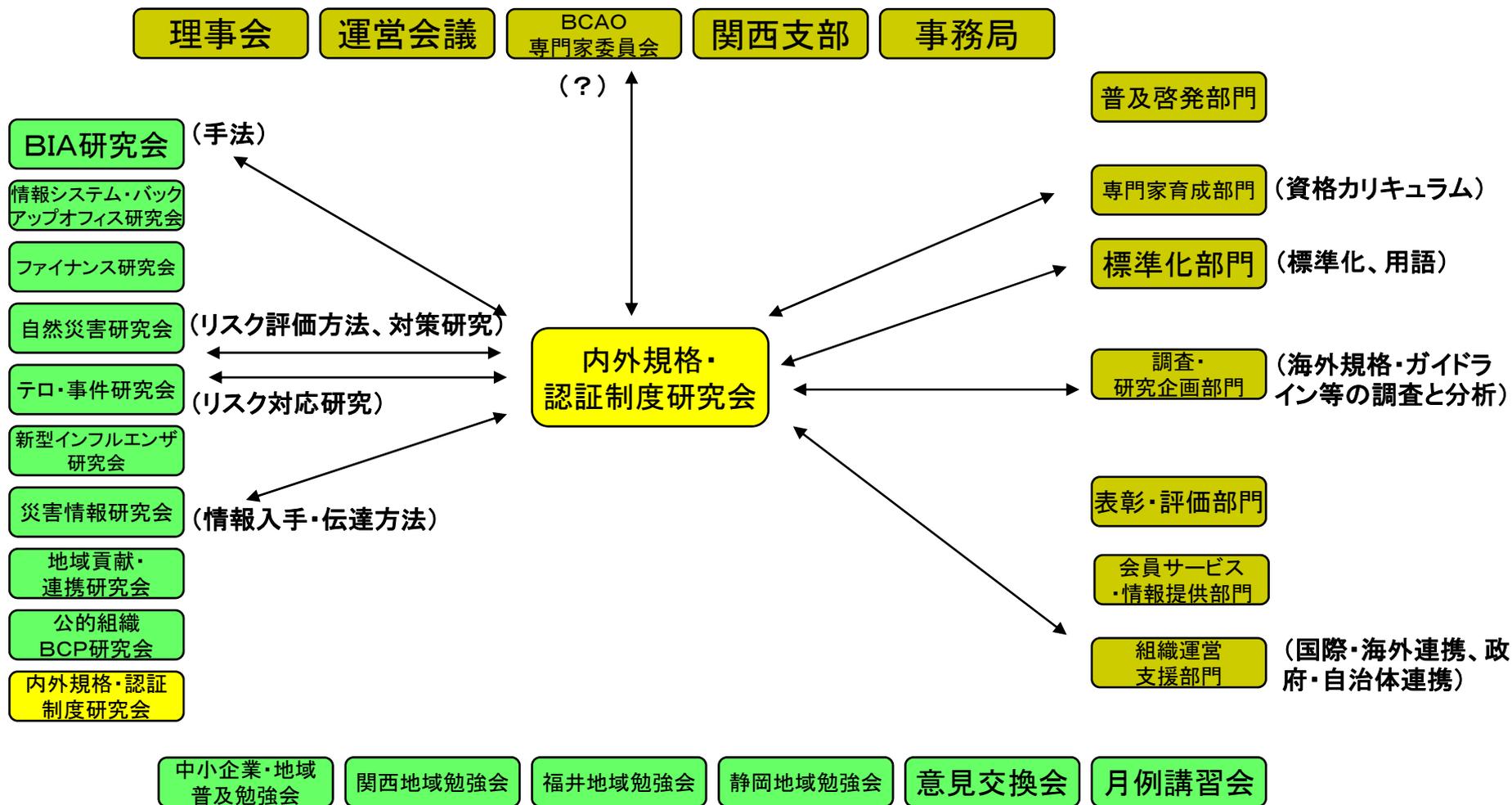
第二者監査・認証

- サプライヤー
- 自組織
- 顧客
- コンサル機関

- ディストラクション
- 継続的改善
MS-PDCA
- 外部認証
- サプライチェーン

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

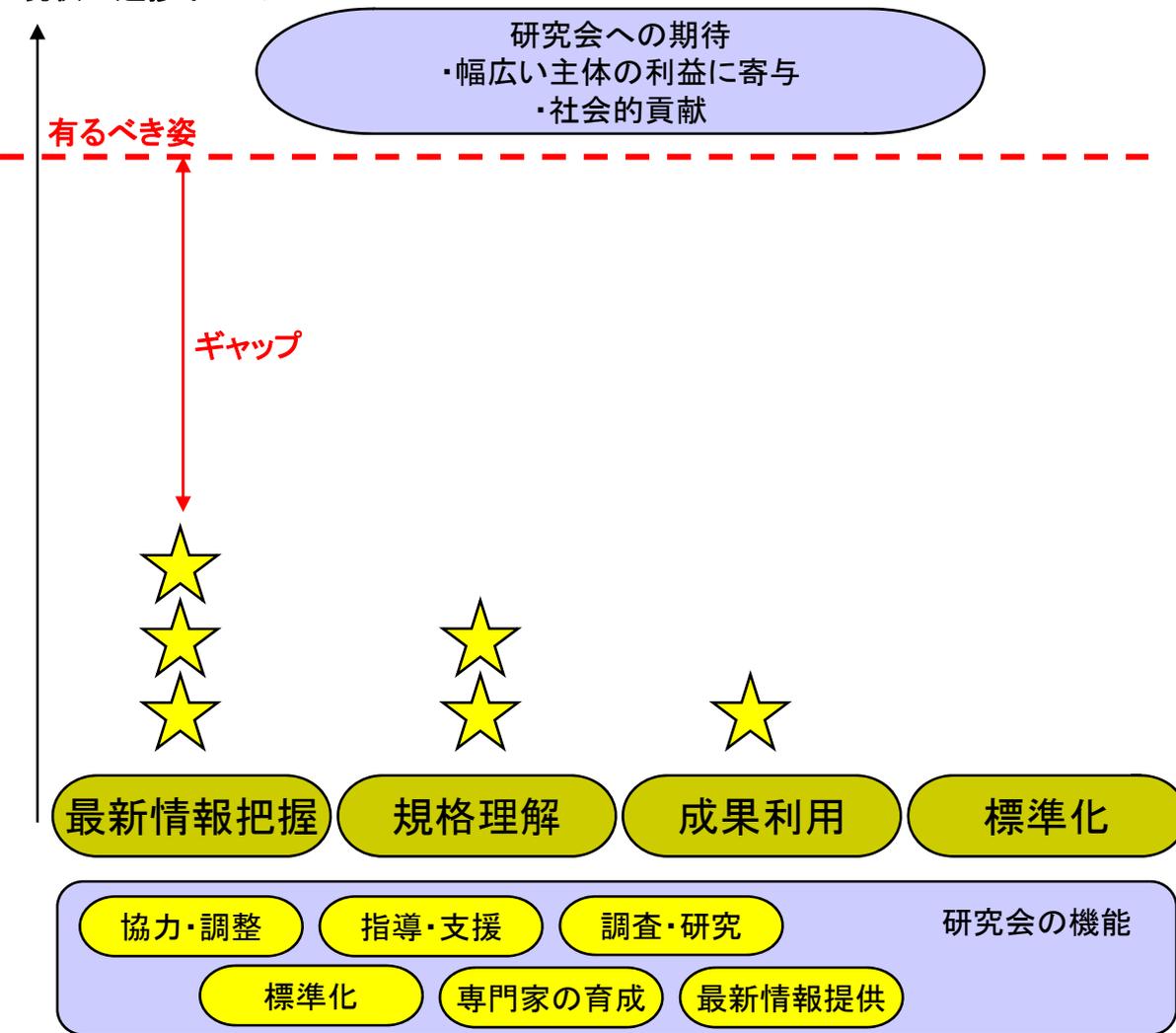
内外規格・認証制度研究会～BCAO組織間連携のイメージ図（例）



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

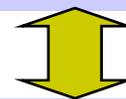
レビューと今後の方向

現状の進捗イメージ



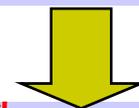
有るべき姿:

- ・BCP関連規格の最新情報を把握し、規格の内容を十分に理解し、必要な組織に情報提供及び指導・支援に利用している
- ・ディスラプションやサプライチェーンの調査・研究により事業継続のレジリエンシーが向上し、成果が必要な組織で使われている



現状の姿:

- ・開発中のISO化の公開情報が極端に少ない
- ・他(社)組織情報も少しずつ共有が出来てきた
- ・公開されている規格やガイドラインの情報共有が進んでいる
- ・メンバーの規格・認証制度に関する知識が向上している
- ・調査研究としての成果はまだ出る段階ではなく情報発信は出来ていない
- ・ディスラプション、サプライチェーン、認証制度の調査・研究はまだ手をつけていない



今後の方向性:

- ・ディスラプションの調査研究
- ・サプライチェーンの調査研究
- ・認証制度の調査研究

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

当研究会の目的・目標

研究会の目的:

ディスラプションの調査・研究、サプライチェーンの調査・研究などを通し、利用組織にとって、レジリエンシーが向上し、役に立つ事業継続規格・ガイドラインのあり方を提案する。

2009年度の目標:

- (1) 代表的な規格・ガイドの内容趣旨を徹底的に、より深く理解し、規格・ガイドに関する専門性を高める
- (2) BCAO内外組織と情報交流により、規格・ガイドに関する専門性を高める
- (3) 規格・ガイドとディスラプション及びサプライチェーンの関係を調査・研究し、レジリエンシー向上に効果的な要素を抽出する

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
国内外規格・認証制度研究会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)